

いざというとき、どうするか… 地震災害から身を守る

八代市には日奈久断層帯があり、平成28年に起きた熊本地震以降もその力が解消されていないとの指摘もあるため、地震に対して日ごろからの心構えと備えが大切です。

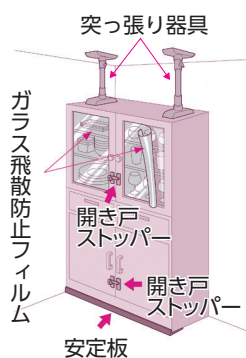
問合せ 危機管理課 ☎33-4112

日頃の備え

備えることで危険は減らせます

【家具の固定】

○家具の固定は、今すぐできる地震対策です。家具が転倒や移動しないようにしっかりと固定しましょう。



○家の中に閉じ込められないように、家具の向きや配置を工夫しましょう。
○ガラスに飛散防止フィルムを張りましょう。

【消火の備え】

○火災の発生に備えて、消火器を準備しましょう。

【住宅の耐震化】

○耐震診断を受けて、必要な補強をしましょう。

【家族間での話し合い】

○離れ離れになった場合の安否の確認方法を決めましょう。
○八代市地域防災マップで避難場所や避難経路を確認しましょう。
○地区の防災訓練などに家族で参加しましょう。

地震が起こったたら…

「身の安全」を最優先に行動を

【屋内にいるとき】

○揺れを感じたら、まず丈夫な机やテーブルなどの下に身を隠しましょう。
○揺れがおさまるまでは、あわてて外へ飛び出さず、落ち着いて行動しましょう。



○揺れがおさまったら、あわてずに火の始末をしましょう。
○割れたガラスや食器などを踏んではいけないように、スリッパや靴を履いて移動しましょう。

○カバンや手荷物などで頭を保護し、公園や空き地など落下物の危険のない安全な場所へ避難しましょう。

【屋外にいるとき】

○徐々にスピードを下げ、ゆっくりと道路の左側に車を止めましょう。
○車を離れるときは、キーをつけたままにして、徒歩で避難しましょう。

【車を運転中（ドライバー）】

○客席に座っているときは、頭を保護して姿勢を低くしましょう。
○立っているときは、転倒しないようにつり革や手すりにつかりつかまりましょう。

【電車やバスに乗っているとき】

○客席に座っているときは、頭を保護して姿勢を低くしましょう。
○立っているときは、転倒しないようにつり革や手すりにつかりつかまりましょう。

水害・土砂災害時の避難情報と警戒レベル

【警戒レベル3、4】が発令された地域に居住の人は、速やかに避難してください。

警戒レベル 1
早期注意情報

警戒レベル 2
洪水注意報
大雨注意報
など

警戒レベル 3
高齢者などは避難準備
高齢者など避難開始

警戒レベル 4
全員避難
避難勧告・避難指示（緊急）
※状況に応じて避難を促すため、緊急避難を促す場合など

実施時間に一齐に地震発生時の安全行動「姿勢を低くする」↓「頭や身体を守る」↓「揺れがおさまるまで待つ」を行う。

訓練の内容
http://www.anshin.pref.kumamoto.jp

とき 11月5日(火)
午前10時ごろに1分程度
訓練開始は、県防災情報メールサービスでお知らせします。
QRコード

令和元年度熊本シエイクアウト訓練を実施します